

きらり☆

松橋支援学校 広報誌

第70号

令和2年
(2020年)
2月発行

熊本県立
松橋支援学校

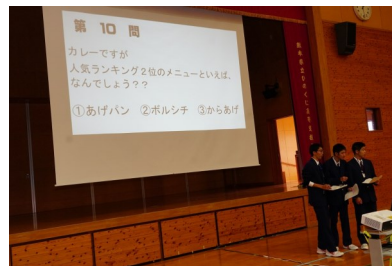
〒869-0543
宇城市松橋町
南豊崎252
Tel.0964-32-0729
氷川分教室
〒869-4201
八代市鏡町
鏡村937
Tel.0965-52-3611

3連覇！二校合同駅伝

ひのくに高等支援学校と本校専門学科による「第6回二校合同駅伝大会」が、12月13日(金)に合志市の熊本県農業公園カントリーパークで開催されました。クラス対抗戦で計18チーム(本校6チーム・ひのくに高等支援12チーム)が出場しました。今回は、両校の平均タイムで競う総合優勝の3連覇がかかっていたため、この大会に向けてジョギングタイムや体育の授業で練習を頑張ってきました。また、練習と併せ「ペップトーク(勇気を与える声かけ)」を学び、本校専門学科が「ONE TEAM」となってこの大会に挑みました。



晴天の駅伝日和の中で、生徒一人一人が精一杯走り、本校3年園芸科がデッドヒートの末、見事一位でゴールしました。その他のクラスも心をひとつにした結果、好タイムで走り終え、3年連続3回目の総合優勝を成し遂げました。大会後はひのくに高等支援学校体育館で、生徒会主催の交流会を行いました。食事をしながら話したり、交流会のクイズでは相談しながら答えを考えたりと、楽しい交流の時間になりました。



高等部普通科・専門学科合同駅伝

12月18日(水)に、高等部普通科と専門学科による合同駅伝大会が行われました。普通科と専門学科で混成チームを編成し、6チームで競い合いました。他学科の生徒とともに活動することで、互いの頑張りを認め応援し合う姿が見られ、日頃のジョギングタイムや体育の授業での練習の成果を精一杯発揮することができました。チーム一丸となってたすきを繋ぐことで、普通科と専門学科の親睦が深まった大会となりました。



成人の集い

成人の日を翌日に控えた1月12日(日)に、「第17回成人の集い」が開催されました。今年度二十歳を迎えた本校普通科・専門学科の卒業生から10人が参加されました。また、その前後の年度の卒業生や保護者及び、当時の担任の先生なども参加され、当時の思い出話に花が咲いていました。会の初めには晴れ着やスーツに身を包んだ新成人の皆さん一人一人からの近況報告があり、大学や職場、福祉事業所での近況などを話していただきました。会の中では、先輩・後輩からの花束贈呈や思い出のアルバムの視聴、会食などで大いに盛り上がり、最後はみんなで校歌を歌って会を閉じました。終了後も一緒に写真撮ったり思い出話をしたりと、再会のひとときを名残惜しむ姿が見られました。



中学部 校外学習

中学部1年生は、12月12日(木)に、松橋町豊川小学校にある「田舎茶房 野の花」に校外学習に行きました。パン作り体験やポニーとのふれあい体験、マジックショーなど、日頃の学習ではできないことを体験しました。パン作り体験では、生地が暖かきやふわふわした感触を楽しみながら、パンの形を好きな形に整えました。焼き上がったパンは、お土産としていただきました。ポニーとのふれあい体験では初めて見るポニーに少し緊張しましたが、にんじんをあげたり、触ったりしてふれあいを楽しみました。最後は、マジックRさんのマジックショーを観覧し、物が消えるマジックなどの本物のマジックに驚く生徒もあり、面白さに惹きつけられていました。天気にも恵まれ、身近なところにある素敵な空間で、学び、楽しむことができました。



宇城地区学校人権研究集会

1月16日(木)に「第43回宇城地区学校人権研究集会」が宇城地区の11の学校などを会場に行われました。本校は「県立「分科会」の会場として、前半に本校職員によるレポート報告及び、報告に対する質疑・応答、後半には「被差別状況にあるそれぞれの児童生徒と、正面から向き合うために一人の教師として大切にしていること」を討議の柱として、グループ討議などを行いました。どの班も活発な意見交換が行われ、参加者の方から「児童生徒の問題行動だけに目が向きがちだが、その背景に何があるのだろうと考えることが大切だ」「児童生徒のストロングポイントを見つければ、認め、前に進んでいくことが大事である」などたくさん意見が上がりました。この研修を通して学んだことを今後、学校生活において実践し、児童生徒がよりよい学校生活を送ることができるよう、改めて考えることができた有意義な研究集会でした。



スクールミュージアム

12月20日(金)に本校ホットほっとルームで「スクールミュージアム」が開催されました。「スクールミュージアム」とは、地域の学校に熊本県立美術館の収蔵作品を展示し、児童生徒をはじめ広く地域の皆様へ本物の美術作品を公開することで、芸術文化に親しむ心を育てる機会とするものです。今回は県立美術館から、前県教育長の宮尾館長と学芸員の方が来校されました。展示されたのは、県出身の画家・浜田知明とシャガールの版画作品でした。児童生徒はそれぞれの作品を熱心に鑑賞していました。また、ワークショップでは、学芸員による絵画の説明がありました。「本物の美術作品ははじめて見た」「こっちの色が好き」といった感想が聞かれ、ホットほっとルームが丸一日、素敵な美術館になりました。



氷川分教室だより



12月12日(木)に、持久走大会を氷川分教室グラウンドで行いました。本年度は趣向をかえ、300mのトラック40周をクラス対抗で、駅伝形式で競う内容で行いました。各クラス、得意な人が周回を多く走ったり、順番を工夫したりと、クラスの勝利のために工夫を凝らしていました。競技中は、クラスに関係なく走っている全ての生徒を応援する姿が見られ、声援を背に受けて各ランナーは全力を尽くしていました。終わった後は、みんな笑顔があふれていて、「応援があつて、今までで一番速く走れて楽しかった」、「みんなでつないで勝利できてよかった」、「遅い人も速い人も協力してできた」など、生徒同士の和の広がりを感じられました。